

1. 園の教育目標

「かんじる心 ちょうせんする心 げんきいっぱいさゆりっこ」

- (1) 友だちと元気よく遊ぶ子
- (2) 気づき考えて粘り強く行動する子
- (3) まわりのものに自らかかわろうとする子
- (4) きもちよくあいさつ、返事の言える子

2. 本年度の重点目標

- (1) 体を動かし、心も体も元気に
- (2) たのしそう、おもしろそう やってみよう
- (3) おはよう、ありがとうで、みんないい気持ち

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・園内研修会の実施をし、職員の資質向上を図っている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員（モニター会）からの評価

- ・バス送迎の安全対策、園児の人権尊重推進に向けて園全体でしっかりと取り組んでいることを理解いただけた。今後、取り組みの様子を保護者に参観日、お便り等で伝えて共通理解を図っていきたい。
- ・保護者が園児欠席の連絡をし忘れたときに園の方から確認の電話があり、安心していただけた。今後も登園後早い時間帯に所在確認をしていきたい。
- ・朝、お部屋の先生が不在で心配なときがあった。副任、預かり等の配置の工夫で更に安心感が持て、お部屋の先生の負担の軽減にもつながるので、できる範囲で保育の環境改善を進めていきたい。
- ・オンライン授業は園児の実態からみると改善の余地はあるので実施方法を工夫していきたい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・主体性を大事にした保育には肯定的な評価をいただいた。子ども理解によりその子に応じた保育が見え、同時に保育士もゆとりを持ってかかわることができてきている。更に理解を深めていける工夫を進めたい。
- ・配慮を要する園児への対応についての研修会、施設見学等を継続的に行い、専門的な知識から具体的な支援につなげることができてきた。保育士の心身のケアにもつながる面もあるので、教育相談員と定期的に懇談の機会を設けていきたい。
- ・地域子育て支援セミナーの実施内容、方法を地域、保護者のニーズに合わせて検討していきたい。